

1

## 「施工計画書の重要性と押さえるべきポイント」

～工事成績をアップさせる秘訣～

2

### 施工計画書で網羅すべき項目

1. 一般事項
2. 施工管理計画
3. 品質管理計画
4. 安全衛生管理計画
5. 環境管理計画
6. 仮設計画

3

## 1. 一般事項

- 適用範囲
- 準拠図書
- 関係法令
- 工事概要
  - 設計図書及び現場条件を反映した現場に即したもの
  - 特記仕様書に記載のある施工上の条件又は注意事項
  - 施工における特に注意すべき事項

4

## 2. 施工管理計画

- ◆ 設計図書及び現場条件を反映した現場に即したもの
  - 施工前の事前調査
    - 図面による現地確認及び写真撮影
    - 他工事把握、打合せ
    - 貫通箇所確認、鉄筋探査方法
    - 停電、断水、設備停止について
    - 石綿の有無

5

## ● その他

- 作業時間、時間外・休日作業の有無
- 施設管理者等への作業開始時（当日の作業内容）、終了時の連絡方法
- 関係法令等諸法令に基づく届出及び申請書等の提出書類、提出先、提出予定日
- 主要資材及び材料の管理（自社基準）

6

## 3. 品質管理計画

- 出来形・品質確保のための記載
- 日常の出来形・品質の管理の方法
- 出来形管理の工夫、管理基準
- 施工途中における品質管理記録の方法
- 施工の各段階の完了時における品質確認の方法・要領
- 写真管理方法（自社基準）
- 検査、記録の体制

## 7 4. 安全衛生管理計画

- 災害防止協議会の開催基準
- 安全に対する自社基準(店社パトロールの実施基準等)
- 予想される災害(酸素欠乏、危険物火災、有機溶剤中毒、墜落、感電等)防止対策
- 安全衛生管理体制表(社内)
- 現場安全衛生管理体制表
- 緊急時の体制  
(組織表・連絡先一覧・休日夜間の連絡先)

## 8 5. 環境管理計画

- 建設副産物の処理計画
- 近隣環境・公害対策
  - ・ 現場状況に応じた、場内制限速度の遵守、機材の搬入・搬出時、はつり作業及び機材切断等の騒音・振動・粉塵対策、立入制限措置等

## 6. 現場仮設計画

- 資材、撤去品仮置場
  - 配置図、養生、区画方法（図示を含む。）等
- 仮設足場
  - 機器据付、配管、配線、塗装工事等に伴う足場の種類、安全対策、配置図（平面図、立面図）等
- その他
  - 現場状況に応じ、作業員休憩場所、機材搬入経路、養生計画等

## 工事成績評定の基準について

2017.07.31

**公社ではより良い施工を目指す事業者様の参考としていただくために、工事成績評定の基準を公表します。**

公益財団法人横浜市建築保全公社では、工事成績評定を次のとおり実施しています。

公益財団法人横浜市建築保全公社請負工事検査事務取扱要領第8条により、工事成績の評定は工事ごとに総括監督員、主任監督員、担当監督員及び技術検査員（以下「評定者」という。）が独立して行うものとしています。

各評定者は、**工事成績採点基準表**（公益財団法人横浜市建築保全公社請負工事検査事務取扱基準第13条様式第3号）に定められた評定項目について、それぞれ**工事成績評定基準**（同基準第14条別表1）に基づき評定します。

各評定者は、評定項目ごとに**工事成績採点基準表**に定められた加減点を当てはめ、「加減点合計a」を算出します

「評定基準点b」である70点に「加減点合計a」を加え、「各員評定点c」を算出します。（100点満点）

「各員評定点c」に**工事成績採点基準表**に定められた「配分d」を乗じて「配分点e」を算出します

「配分点e」の合計を $\Sigma e$ として、さらに創意工夫や企業努力に関する「加点f」（最高3点）を加えた $\Sigma e + f$ の値の小数点以下を四捨五入して工事成績評定とします

工事成績採点基準表

11

工事名		〇〇〇改修工事										完成検査日 R1年 12月 16日																
評定項目	評定要素	担当監督員					主任監督員					総括監督員					技術検査員											
		a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e							
1 施工 体制	施工体制	3	1	0	-1		4	2	0	-2		7	3	0	-3												23	18.7%
	現場代理人	4	2	0	-2	-4	5	2	0	-2	-4																	
2 施工 状況	工程管理	5	2	0	-2	-4	6	3	0	-3	-6	8	4	0	-4	-8											67	55.8%
	現場管理・安全対策	5	2	0	-2	-4	6	3	0	-3	-6	8	4	0	-4	-8												
	連絡・協調性	4	2	0	-2	-4	5	2	0	-2	-4	7	3	0	-3	-7												
	書類・資料の整備	3	1	0	-1		4	2	0	-2							6	3	0	-3								
3 出来形及び出来ばえ時	出来形	2	1	0	-1												8	4	0	-4							30	25.0%
	品質	2	1	0	-1												8	4	0	-4								
	出来ばえ	2	1	0	-1												8	4	0	-4								
計算 Σ○	加減点合計 a	30					30					30					30											
	評定基準点 b	70					70					70					70											
	各員評定点 c = a + b	100					100					100					100											
	配分 d	0.4					0.2					0.1					0.3											
	配分点 e = c × d	40					20					10					30											
加 点 f						3															3							
評 定 点 Σ○ + f																					103.0							

12

## 監督員別考査項目

### 1. 担当監督員

1. 項目1.施工体制の 細目 配置技術者(現場代理人)
2. 項目2.施工状況の 細目 施工管理(現場管理等)
3. 項目2.施工状況の 細目 工程管理
4. 項目2.施工状況の 細目 対外関係(連絡・協調性)
5. 項目3.出来形及び出来ばえの 細目 出来形
6. 項目3.出来形及び出来ばえの 細目 品質

## 監督員別考査項目

### 2. 主任監督員

1. 項目1.施工体制の 細目 施工体制一般
2. 項目2.施工状況の 細目 安全対策
3. 項目 創意工夫の 細目 創意工夫

## 監督員別考査項目

### 3. 総括監督員

1. 項目2.施工状況の 細目 工程管理
2. 項目2.施工状況の 細目 安全対策
3. 項目 工事特性の 細目 施工条件等への対応
4. 項目 社会性等の 細目 地域への貢献等
5. 項目 法令遵守等

## 監督員別考査項目

### 4. 技術検査員

- |                   |    |      |
|-------------------|----|------|
| 1. 項目2.施工状況の      | 細目 | 施工管理 |
| 2. 項目3.出来形及び出来ばえの | 細目 | 出来形  |
| 3. 項目3.出来形及び出来ばえの | 細目 | 品質   |
| 4. 項目3.出来形及び出来ばえの | 細目 | 出来ばえ |

## 考査項目運用

### 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

- ① 現場代理人として、工事全体の把握ができているか。
- ② 現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っているか。

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

- ③ 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っていたか。(設計図書とは、設計書、図面、仕様書、現場説明書及びこれらの図書に対する質問回答書のこと)
- ④ 工事請負契約書第19条(条件変更等)第1～5項(以下、「契約約款第19条」という)に基づく設計図書の照査を行っていたか。

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

- ⑤ 書類及び資料が適切に整理されていたか。
- ⑥ 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めていたか。
- ⑦ 工事に必要な専門技術者を選任し、配置していたか。
- ⑧ 作業に必要な作業主任者を選任し、配置していたか。

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

- ⑨ 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めていたか。
- ⑩ 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導していたか。
- ⑪ 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めていたか。

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

- ⑫ 配置技術者(現場代理人等)について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されたか。

21

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

### (工事实績情報)

- 事前に監督員の確認を受け、契約締結後等の10日以内(祝日等を除く。)に登録機関に申請し、登録されたことを証明する資料を、監督員に提出したか。(契約後、変更後、完成時)

22

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

### (現場代理人)

- 現場代理人は現場に常駐しているか。  
(施工時 1回/月程度)
- 監督員への通知、報告、申出等を書面で行っているか。(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

### (監理技術者(主任技術者)の専任制等)

- 技術者としての要件が資格者証等により確認できたか。(着手前)
- 配置技術者(変更)届出書または現場代理人等通知書等に記載されている技術者が本人であるか。(着手前)

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

### (監理技術者(主任技術者)の専任制等)

- 現場に専任しているか。(専任義務は建築一式工事5,000万円以上、その他工事2,500万円以上)  
(施工中、打合せ時)
- 施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっているか。(施工中、打合せ時)

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

### (専門技術者の配置)

- 専門技術者を選任し、配置しているか。  
(施工計画時、施工中適宜)

### (作業主任者の選任)

- 作業主任者を選任し、配置している。  
(施工計画時、施工中適宜)

## 1. 担当監督員(1. 施工体制 配置技術者)

### (下請負者の把握)

- 下請負者が横浜市の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないか。  
(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

- ① 契約約款第19条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っていたか\*。
- ② 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されたか。
- ③ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていたか。

\* この色の項目については、技術検査員も評価します。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

- ④ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があるか。
- ⑤ 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理が適切に行われたか。
- ⑥ 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られていたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

- ⑦ 工事記録の整備が、適時的確に行われていたか。
- ⑧ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していたか。
- ⑨ 各工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

- ⑩ 現場内での整理整頓が、日常的に行われていたか。
- ⑪ 使用する建築材料(以下「材料」という。)-設備機材(以下「機材」という。)の調達計画及び搬入後の管理が適切であったか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

- ⑫ 社内検査は計画的に行われていたか。
- ⑬ 独自のチェックリスト等の管理基準により管理されていたか。
- ⑭ 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両が使用されていたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

- ⑮ 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取組みが、適切に行われたか。
- ⑯ 施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

### (設計図書の照査等)

- 契約約款第19条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行ったか。  
(着手前、施工中適宜)
- 現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けたか。  
(着手前、施工中適宜)

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

### (施工計画書)

- 施工(変更を含む)に先立ち、設計図書等の内容を反映したものが提出されたか。(着手前、変更時)
- 記載内容と現場施工方法が一致していたか。  
(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

(施工管理・建築材料、機材の管理・出来形、品質管理)

- 建築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされていたか。(施工中適宜)
- 日常の出来形、品質管理が適時、的確に行われていたか。(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(2.施工状況 施工管理)

(建設副産物及び建設廃棄物)

- 請負者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督員に提示したか。(施工中適宜)
- 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出されたか。(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(2.施工状況 工程管理)

- ① 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行われていたか。
- ② 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握していたか。
- ③ 工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び施設管理者等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがなかったか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 工程管理)

- ④ 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が迅速に行われたか。
- ⑤ 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業が行われたか。
- ⑥ 請負者の責による夜間や休日の作業はなかったか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 工程管理)

- ⑦ 休日・代休の確保が行われたか。
- ⑧ 近隣住民(施設管理者等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗が行えたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 工程管理)

- ⑨ 工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 工程管理)

### (工程管理)

- ① 施工前に各種工程表が提出している。  
(着手前、施工中適宜)
- ② 工程の把握に努め、必要に応じ、フォローアップを行っている。(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(2.施工状況 対外関係)

- ① 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がなかったか。
- ② 工事施工にあたり、近隣住民(施設管理者等を含む)と適切に協議及び調整を行ったか。
- ③ 引渡し時に施設管理者に対し、保守管理について適切な説明を行ったか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 対外関係)

- ④ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知していたか。
- ⑤ 近隣住民(施設管理者等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルはなかったか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 対外関係)

- ⑥ 現場のイメージアップに、取り組んでいる。
- ⑦ 対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されたか。

## 1. 担当監督員(2.施工状況 対外関係)

### (関係機関等)

- 関係機関等との調整等を実施し、記録がある。  
(必要に応じ、下記の内容をチェックする。)
- ① 関係部署(施工中適宜)
- ② 近隣住民・施設管理者等(施工中適宜)
- ③ 関連工事等(施工中適宜)

## 1. 担当監督員(3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ① 承諾図等が、設計図書を満足していたか。
- ② 施工図等が、設計図書を満足していたか。
- ③ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であったか。
- ④ 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理されていたか。

## 1. 担当監督員 (3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ⑤ 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好であったか。
- ⑥ 出来形の管理方法を工夫していたか。
- ⑦ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切であったか。

## 1. 担当監督員 (3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ⑧ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できるか。

### 1.担当監督員(3.出来形及び出来ばえ 品質)

- ① 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していたか。
- ② 品質確認記録の内容が、適切であったか。
- ③ 施工の各段階における完了時の、品質が適切であったか。
- ④ 躯体工事における施工の品質が、良好であるか。

### 1.担当監督員(3.出来形及び出来ばえ 品質)

- ⑤ 内外仕上工事における施工の品質が、良好であるか。
- ⑥ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されていたか。

## 1.担当監督員(3.出来形及び出来ばえ 品質)

- ① 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していたか。
- ② 品質確認記録の内容が、適切であったか。
- ③ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切であったか。

## 1.担当監督員(3.出来形及び出来ばえ 品質)

- ④ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していたか。
- ⑤ 機材及び施工の品質が、良好であったか。

## 1.担当監督員(3.出来形及び出来ばえ 品質)

- ⑥ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されていたか。

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

- ① 作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されていたか。
- ② 品質管理体制が、書面に適切に記載されていたか。
- ③ 安全管理体制が、書面に適切に記載されていたか。
- ④ 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致していたか。

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

- ⑤ 工事規模に応じた人員、機械配置をし施工していたか。
- ⑥ 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されていたか。
- ⑦ 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査していたか。

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

- ⑧ 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施されたか。
- ⑨ 施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されたか。

57

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

### (品質・安全管理体制)

- 品質及び安全計画に見合う管理体制が確立されている。(施工計画書提出時)

58

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

### (建設業退職金共済制度)

- 建設業退職金共済証紙購入状況等報告書(様式1号)を契約締結後2ヶ月以内に提出した。
- 共済証紙を購入しない理由を「建設業退職金共済証紙購入状況等報告書(様式1号)」に記載し、契約締結後2ヶ月以内に提出した。

59

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

### (建設業退職金共済制度)

- 建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。(施工中適宜)
- 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。(施工時1回程度)

60

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

### (労働保険関係成立票)

- 労災保険関係成立票を工事現場の見やすい場所に掲示している。(施工時1回程度)

### (建設業許可標識)

- 建設業法に定められた標識を正しく記載し、公衆の見やすい場所に設置している(全ての下請業者を含む。)(施工時1回程度)

61

## 2.主任監督員(1.施工体制 施工体制一般)

(施工体制台帳、施工体系図又は作業分担に関する資料)

- 施工体制台帳及び施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。(施工時の当初、変更時)
- 施工体制台帳に下請負契約書等(写)(再下請業者を含む。)を添付している。(施工時の当初、変更時)

62

- 施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」に、加入又は適用除外と記載している。(施工時の当初、変更時)※平成27年11月17日財公第436号の通知、「横浜市発注工事における社会保険等未加入対策対象工事の拡大について」に基づく確認

- 施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。  
(施工時の当初、変更時)
- 施工体系図に記載されている業者のみが作業している。  
(施工時 1回／月程度)
- 元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。(施工時の当初、変更時)

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

- ① 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回／月以上活動し、記録が整備されていたか。
- ② 店社パトロールを1回／月以上実施し、記録が整備されていたか。
- ③ 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正を指示したか。

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

- ④ 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されていたか。
- ⑤ 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整理されていたか。
- ⑥ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の**特性が反映**され、記録が整備されていたか。

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

- ⑦ 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置を実施したか。
- ⑧ 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされたか。
- ⑨ 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されたか。

67

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

- ⑩ 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されたか。
- ⑪ 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されていたか。
- ⑫ 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されていたか。

68

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

- ⑬ 過積載防止に十分に取り組んでいたか。
- ⑭ 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されたか。

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

### (安全活動)

- 安全活動を実施し、記録がある。  
(必要に応じ、以下の内容をチェックする。)
- ①災害防止協議会等(施工中適宜)
- ②店社パトロール(施工中1回/月程度)
- ③安全教育、訓練等(施工中適宜)
- ④安全巡視、TBM、KY等(施工中適宜)
- ⑤新規入場者教育(施工中適宜)

## 2.主任監督員等(2.施工状況 安全対策)

### (仮設備点検等)

- 仮設備点検等を実施し、記録がある  
(必要に応じ、下記の内容をチェックする。)
- ①過積載防止対策(施工中適宜)
- ②機械・車両等点検整備等(施工中1回/月程度)
- ③重機操作時安全点検記録等(施工中適宜)
- ④山留め、仮締切等の点検及び管理記録(施工中適宜)
- ⑤足場、支保工の組立完了時・使用中の点検及び管理記録  
(施工中適宜)

71

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

### 【準備、後片づけ関係】

- 測量・位置出しにおける工夫
- 現地調査方法の工夫

### 【施工関係】

- 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫
- 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み

72

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

- 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫
- 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫
- 電気設備工事等の配線・配管等の工夫
- 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫

73

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

- 照明・視界確保等の工夫
- 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫
- 運搬車両・施工機械等の工夫
- 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫
- 施工管理及び品質向上等の工夫

74

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

- プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫
- 仮設施工等の工夫
- 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫
- 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫
- 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫

75

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

### 【品質関係】

- 集計ソフト等の活用と工夫
- 躯体工事の品質管理の工夫
- 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫
- 施工の検査・試験に関する工夫
- 品質記録方法の工夫

76

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

### 【安全衛生関係】

- 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)
- 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫
- 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫

77

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

- 酸欠対策、有毒ガス、可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫
- 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫
- 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫

78

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

- 作業時における作業環境改善等の工夫
- ごみの減量化及び分別収集の実施(ヨコハマ3R夢プラン)、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫

## 2.主任監督員( 創意工夫 )

### 【施工管理関係】

- 出来形の管理等に関する工夫
- 施工計画書または写真記録等に関する工夫
- 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫
- CAD、施工管理ソフト等の活用
- 施工合理化技術を活用した施工管理の工夫

## 3.総括監督員(2.施工状況 工程管理)

- ① 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。
- ② 隣接又は同一現場の他工事との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避したか。
- ③ 近隣住民(施設管理者等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させたか。

### 3.総括監督員(2.施工状況 工程管理)

- ④ 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られたか。

### 3.総括監督員(2.施工状況 安全管理)

- ① 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著であったか。
- ② 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいたか。
- ③ 安全衛生管理活動が、適切に実施されていたか。

### 3.総括監督員(2.施工状況 安全管理)

- ④ 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいたか。
- ⑤ 安全協議会活動に積極的に取り組んでいたか。

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### I 建物規模への対応

- 対象構造物の高さ、延長、施工面積等の規模
- 対象構造物の形状の複雑さ

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### [評価技術事例] 建築工事

- ◆ 延べ面積10,000㎡以上の建物
- ◆ 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物
- ◆ 大空間のホール等を有する建物

#### [評価技術事例]【設備】

- ◆ 高さ30m以上の工作物
- ◆ 特別高圧、高圧受電設備
- ◆ 高圧発電設備
- ◆ 施工場所が地下20m以深の工事
- ◆ 20kW以上の太陽光発電設備
- ◆ 焼却設備(ボイラーを含む)の大規模補修
- ◆ 大空間(公会堂・工場等)における設備工事

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### Ⅱ 建物固有の機能の難しさへの対応

- 対象建物の耐震レベル
- 建物機能の特殊性

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### [評価技術事例]

- 建築工事において大地震動後に、人命の安全確保に加え機能確保の十分に図られるよう、以下の目標により施工されている。  
【構造体】補修することなく建物を使用できる(公共建築物構造設計の用途係数区分 1.5)  
【非構造部材】災害応急対策活動等を行う上で、また危険物の管理の上で、支障となるような損傷、移動等が発生しない  
(官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 A類)
- 建築設備工事において大地震動後に、人命の安全確保及び二次災害の防止が図られるよう、以下の目標により施工されている  
【建築設備】多くは補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できる  
(官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 甲類)
- 研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### Ⅲ 建物固有の施工技術の難しさへの対応

- 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合
- 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性
- 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合

### 3.総括監督員( 工事特性 施工条件への対応)

#### [評価技術事例]

- ◆ パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事
- ◆ 特殊な工法及び材料等を採用した工事
- ◆ 特殊な設備システムを採用した工事
- ◆ 免震装置を設ける工事
- ◆ 大規模な山留め工法が必要な工事
- ◆ 敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事
- ◆ 仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
- ◆ 焼却設備の撤去工事

### 3.総括監督員( 工事特性 施工条件への対応)

#### IV 厳しい自然・地盤条件への対応

- 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)
- 軟弱地盤、支持地盤の影響
- 雨・雪・風・気温等の影響

### 3.総括監督員( 工事特性 施工条件への対応)

#### [評価技術事例]

- ◆ 地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事
- ◆ 液状化対策工事や地盤改良を伴う工事
- ◆ 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬季の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事

### 3.総括監督員( 工事特性 施工条件への対応)

#### V 厳しい周辺環境、社会条件との対応

- 地中埋設物等の作業障害
- 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物
- 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮
- 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### [評価技術事例]

- ◆ 工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事
- ◆ 工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事
- ◆ 場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事
- ◆ 住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事
- ◆ 有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

#### V 厳しい周辺環境、社会条件との対応

##### 【長期工事における安全確保への対応】

- 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事  
(ただし全面一時中止期間は除く)

##### 【災害等での臨機の措置】

- 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事

95

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

V 厳しい周辺環境、社会条件との対応

【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】

- 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事
  
- 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事

96

### 3.総括監督員(工事特性 施工条件への対応)

V 厳しい周辺環境、社会条件との対応

- 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事
  
- 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事
  
- 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事

97

### 3.総括監督員( 工事特性 施工条件への対応)

#### V 厳しい周辺環境、社会条件との対応

- 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事
- 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事

98

### 3.総括監督員( 工事特性 施工条件への対応)

#### V 厳しい周辺環境、社会条件との対応

- 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事
- 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事

### 3. 総括監督員( 社会性等 地域への貢献等)

- ① 災害時等に地域への救援活動等に協力した。
- ② 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。
- ③ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。
- ④ 広報活動や現場見学回答を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。
- ⑤ 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。
- ⑥ その他(理由 **地域清掃等** )

### 4. 技術検査員(2.施工状況 施工管理)

- ① 契約約款第19条第1項第1号～5号に基づく設計図書<sup>1)</sup>の照査結果を、適切に処理していることが確認できるか。[監督員(2-I-1)]
- ② 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できるか。[監督員(2-I-3)]

\* この色の項目は、担当監督員同じ内容です。

## 4. 技術検査員(2.施工状況 施工管理)

- ③ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できるか。[監督員(2-I-4)]
- ④ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できるか。[監督員(2-I-8)]
- ⑤ 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できるか。[監督員(2-I-7)]

## 4. 技術検査員(2.施工状況 施工管理)

- ⑥ 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できるか。[監督員(2-I-11)]
- ⑦ 各工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できるか。[監督員(2-I-9)]

#### 4. 技術検査員(2.施工状況 施工管理)

- ⑧ 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取組みが、適切に行なわれていることが確認できるか。[監督員(2-I-15)]
- ⑨ 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できるか。[監督員(2-I-12)]

#### 4. 技術検査員(2.施工状況 施工管理)

- ⑩ 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できるか。[監督員(2-I-13)]
- ⑪ 工事の関係書類及び資料整理がよいか。

## 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ① 承諾図等が、設計図書を満足しているか。[監督員(3-I-1)]
- ② 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できるか。[監督員(3-I-2)]
- ③ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できるか。  
[監督員(3-I-4)]

## 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ④ 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できるか。[監督員(3-I-5)]
- ⑤ 出来形の管理が、工夫されていることが確認できるか。 [監督員(3-I-6)]
- ⑥ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できるか。 [監督員(3-I-3)]

107

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ⑦ 現場における出来形が良好で、施工の精度は高いか。
- ⑧ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できるか。[監督員(3-I-8)]

108

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来形)

- ⑨ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切であるか。[監督員(3-I-7)]

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【**建築工事**】)

- ① 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できるか。  
[監督員(3-Ⅱ-1)]
- ② 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できるか。 [監督員(3-Ⅱ-3)]
- ③ 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できるか。 [監督員(3-Ⅱ-2)]

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【**建築工事**】)

- ④ 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できるか。
- ⑤ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できるか。

111

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【**建築工事**】)

- ⑥ 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できるか。
- ⑦ 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できるか。

[監督員(3-II-4)]

112

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【**建築工事**】)

- ⑧ 内外仕上工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できるか。
- ⑨ その他の工事(躯体・内外仕上を除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できるか。

[監督員(3-II-5)]

113

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【**建築工事**】)

- ⑩ 不可視部分となる部品の品質が、工事写真、施工記録により確認できるか。[監督員(3-Ⅱ-6)]

114

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来ばえ【**建築工事**】)

- ① め細かな施工がなされ、取り合いの収まりや端部まで仕上がりは良いか。
- ② 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりであるか。
- ③ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れているか。

115

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来ばえ【建築工事】)

- ④ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好であるか。
- ⑤ 色調が均一であり、色むら等がなく、全体的な美観が良好であるか。
- ⑥ 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好であるか。

116

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来ばえ【建築工事】)

- ⑦ 保全に配慮した施工がなされているか。

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【建築設備工事】)

- ① 機材の品質が、承諾函等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できるか。[監督員(3-Ⅱ-1)]
- ② 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できるか。
- ③ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できるか。[監督員(3-Ⅱ-1)]

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【建築設備工事】)

- ④ 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できるか。
- ⑤ 機材及び施工の品質が、良好であるか。  
[監督員(3-Ⅱ-5)]
- ⑥ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できるか。

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【建築設備工事】)

- ⑦ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できるか。[監督員(3-II-4)]
- ⑧ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫はあるか。

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 品質【建築設備工事】)

- ⑨ 不可視部分となる部品の品質が、工事写真、施工記録により確認できるか。[監督員(3-II-6)]

121

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来ばえ【建築設備工事】)

- ① きめ細やかな施工がなされているか。
- ② 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりであるか。
- ③ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能は優れているか。

122

#### 4. 技術検査員

( 3.出来形及び出来ばえ 出来ばえ【建築設備工事】)

- ④ 環境負荷低減への対策が優れているか。
- ⑤ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされているか。